

## 2026 年前期 近況報告

### カナダでのワーキングホリデーで大きく成長

#### 24期 九州地方の大学4年生の女性

私は2025年3月からの1年間、カナダのビクトリアにワーキングホリデーに行きました。カナダでのワーキングホリデーをした一年は、「挑戦」そして「成長」に満ちた非常に充実した時間でした。渡航当初は、仕事探しや銀行などの生活手続きに苦勞し、慣れない環境の中で不安を感じる事がとても多かったです。英語でのコミュニケーションも今まで勉強してきたものとは全く違う表現を使っているのを聞いたり、思うように意思を伝えられないもどかしさを感じたりしていました。

しかし、日常生活やアルバイトを通して毎日たくさんの英語に触れ、少しずつ英語に慣れ、簡単な会話から徐々に自分の考えを伝えられるようになり、それが大きな自信につながったと思います。また、カナダは移民国でたくさんの国からいろいろな人種の人が集まっているため異なる文化や価値観に触れる中で、日本では当たり前だと思っていた考え方を見直す機会にもなり、自分自身の視野も広がったと実感しています。職場ではさまざまな国籍の人々と関わり、文化の違いに戸惑うこともありましたが、お互いを尊重し理解しようとする姿勢の大切さも学びました。さらに、1人で生活する中で自己管理能力も身につけ、時間やお金の使い方を工夫するようになりました。

困難に直面した際も誰かに頼るのも大切ですが、自分で考えて行動する力も養われたと思います。仕事では初めの頃は失敗することも多く、その度に落ち込んでいました。でも、周囲の人に助けられながら少しずつ出来ることが増えていきました。また、日々の生活の中で自分の弱さと向き合う場面も多く、自分自身を見つめ直す貴重な機会にもなりました。楽しいことばかりではなく、もちろん孤独を感じたり、思うようにいかなかったり、沢山の辛い経験もありましたが、それらすべてが自分を成長させてくれた大切な経験だと今は思います。この一年を通して得た語学力や異文化理解、そして自立心は、今後の人生において大きな財産になると思います。

### 教員採用試験に向けて、論文や面接に力点

#### 25期 首都圏の大学4年生の女性

大学三年後期は、私にとって一つの大きな区切りとなる時期でした。特に印象に残っているのは、所属していたダンスサークルの引退に向けた活動です。最後の発表に向けて、仲間と何度も練習を重ね、振付や構成について意見を出し合いながら一つの作品を作り上げました。意見がぶつかることや思うように進まないこともありましたが、そのたびに話し合いを重ね、より良いものを目指して努力を続けました。その結果、納得のいく形で発表を終えることができ、大きな達成感を得ることができました。この経験から、仲間と協力して一つ

の目標に向かうことの大切さや、最後までやり抜くことの重要性を改めて実感しました。

また、卒業論文に向けた研究にも本格的に取り組み始めました。テーマは戦時期の日常生活であり、当時の人々の暮らしをより具体的に理解するため、複数の博物館に足を運びました。実際の資料や展示を自分の目で見ることで、文献だけでは分からない生活の様子や人々の思いに触れることができ、研究への関心が一層深まりました。こうした経験は、自分の考えを深めるうえで非常に有意義なものであったと感じています。

春休みには、六月から始まる教育実習を控えつつ、今のうちにできる経験として旅行にも出かけました。新しい土地での体験や出会いは、気分転換になるだけでなく、自分の視野を広げる貴重な機会となりました。

今後は教員採用試験に向けて、論文や面接の対策に力を入れていきたいと考えています。これまでの経験を大切にしながら、自分の考えを分かりやすく伝えられるよう準備を進め、目標の実現に向けて努力を重ねていきます。

## **大手ゼネコンに内定、来年4月から東京勤務**

### **25期 北海道の大学4年生の男性**

平素より多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆様の温かいご支援のおかげで、安心して学業に専念できておりますこと、深く感謝申し上げます。

三年生後期は、専門科目の授業が多く、課題やレポートへの対応に追われるなど、学業に力を注いだ期間となりました。設計や構造、環境工学といった科目を通して、建築に関する専門的な知識を体系的に学ぶことができました。また、複数の課題を計画的に進める中で、時間管理能力や粘り強く取り組む姿勢を身につけることができ、自身の成長を実感しております。

さらに、三年次には就職活動にも積極的に取り組みました。企業研究やインターンシップ、面接対策を重ねた結果、今年度の二月に目標にしていた大手ゼネコン会社より内定をいただくことができました。これまで学んできた建築の知識を社会で活かす機会を得られたことを大変嬉しく感じるとともに、社会人としての責任の重さを実感しております。来年四月からは東京で勤務する予定であり、新たな環境での生活に期待とともに身の引き締まる思いです。

四年生では、これまでに培った知識を活かし、卒業研究および卒業設計に全力で取り組んでまいります。研究分野に関する内容では、主に商業施設や、学校施設などの非住宅を対象にした空調性能や断熱機密に関しての研究をする予定です。また、社会人として円滑に業務を遂行できるよう、専門知識のさらなる深化に加え、資格取得、コミュニケーション能力やマネジメント力の向上にも努めていきたいと考えております。

今後も、ご支援への感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる人材となれるよう一層精進してまいります。何卒よろしくご厚意申し上げます。

## 看護師国家試験に向け、苦手分野を克服

### 25期 近畿地方の大学4年生の女性

私は現在、看護師国家試験合格に向けて日々学習に取り組んでいます。これまでの学生生活の中で特に大きな出来事となったのが、長期間にわたる領域実習を無事に終えたことです。実習では、これまで講義や演習で学んできた知識を実際の医療現場でどのように活かすのかを考えながら行動する必要がある、想像していた以上に難しさを感じ、課題やレポートに追われる日々でした。また、実際に患者さんと関わる中で、患者さん一人ひとりに異なる生活背景や思いがあり、その方に合った関わり方や看護を考えることの大切さを学ぶ機会となりました。また、緊張から自分の考えをうまく伝えられなかったことや、知識不足により行動に迷ったりする場面も多くあり、自分の未熟さを強く実感しました。しかし、指導してくださった看護師の方々や教員からの助言を受けながら、少しずつ自分なりに考えて行動できるようになり、実習を通して成長できたと感じています。

現在は、大きな実習が終了したことでこれまでの学習内容を振り返りながら、来年の看護師国家試験に向けた勉強を本格的に始めています。過去問題を解く中で、自分の苦手な分野や理解が不十分な部分を把握し、ノートにまとめ直すなど工夫しながら学習を進めています。実習で経験した場面を思い出しながら勉強することで、知識が実際の看護につながっていることを実感でき、学習への意欲も高まっています。

また、勉強をすることも大切だと思っていますが、やはり時には友人と遊ぶことで自身のモチベーションを上げるきっかけにもなり、友人との旅行や外食も楽しむことでリフレッシュにもなっています。これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、看護師国家試験合格という目標に向かって、最後まで努力を続けていきたいと考えています。

今後は、これまでの学びを大切にしながら、看護師として必要な知識と姿勢を身につけ、将来は患者さんに寄り添える立派な看護師になれるよう、一日一日を大切に過ごしていくことがこの1年間の目標です。

## 金融業界への就職内定、資格取得にも意欲

### 25期 中国地方の大学4年生の女性

このたびは、日頃より多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。奨学金のご支援のおかげで、学業に専念できる環境をいただいておりますこと、深く感謝しております。

本年度は特に、夏季休暇期間を活用し、複数のインターンシップに積極的に参加いたしました。業界や企業ごとに異なる業務内容や求められる姿勢を実際に体験する中で、自身の将来像について具体的に考える貴重な機会となりました。また、社員の方々との交流を通じて、社会人として必要な責任感や主体性の重要性を学び、大きな刺激を受けました。これらの経験を踏まえ、早期より就職活動にも取り組んでまいりました。その結果、金融業界の企業より内定を頂戴することができました。インターンシップで得た学びや気づきを活かしながら、自身の強みや価値観を見つめ直し、納得のいく進路選択ができたと感じてお

ります。

また、現在も学業と並行してアルバイトに継続して取り組んでおります。接客業を通じて、多様なお客様と関わる中で、状況に応じた柔軟な対応力や円滑なコミュニケーションの大切さを実感しております。こうした経験は、今後社会に出た際にも大いに活かせるものと考えております。

今後の一年間につきましては、入社後を見据え、金融業界に必要とされる専門知識の習得を目的として、資格試験の勉強に力を入れてまいります。業務に直結する知識を事前に身につけることで、社会人として良いスタートを切れるよう準備を進めていく所存です。また、日々の学習を継続する中で、計画的に物事へ取り組む力や自己管理能力の向上にも努めてまいります。

引き続き、学業との両立を図りながら、自身の成長に努めてまいります。これまで支えてくださったご恩に報いることができるよう、一層精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。  
ご連絡が遅れてしまい誠に申し訳ございません。

## 人口減少と都市部への若者の流出問題、地方創生に興味

### 25期 首都圏の大学4年生の男性

大学3年後期の生活について報告します。内容を話す前に、大学3年の後期は、私が今まで抱いていた考え方や当たり前が180度変化した期間でした。

はじめに勉学について報告します。私の学部の特攻は国際関係で、副専攻は教育学(教職)です。国際関係では、私のコースの教授が元国際連合の職員であったため、毎週その人脈で、東京大学大学院の学生や、紛争地から難民で日本に來日した方、UNDP やシンクタンクで、実際に国際現場で働いている職員の方々などから講演をしていただき、私の当たり前の考え、私にとっての常識が覆る経験をしました。その一例として、日本人が無意識に肌の色の差異で、目線や話し方を変化して対応するため、アイデンティティの侵害を行っているということです。専門用語でマイクロアグレッションといいます。講演者のプライバシーの観点から大まかに説明すると、その方の両親はどちらも外国人で幼いころから長い期間日本で暮らしています。コンビニなどで、その方の肌の色が異なるからといって、冷たい対応をされるのが日常茶飯事であることです。

その話以外にも、日本では警察をはじめとした諸機関が日本人とは肌の色が異なるからといって、勝手に犯罪者と見立て肌の色が異なる人を捜査対象にする考え方であるレイシャルプロファイリングの考え方があります。私も、日本人の中で考え方が今の5年後、10年後の考え方で生きているため、マイノリティであります。日本人は、もともと島国で外との交流を閉ざした歴史もあるため、勝手に当たり前を決めて、それ以外はダメというのが特に関東圏で強いと感じました。つまり、私の経験からも日本は多様性からかけ離れているのでは、と感じています。

次に、私の日常生活について報告します。お仕事と節約で必死に貯めたお金で一週間フィリピンに一人旅をしました。皆さんもご存じの通り、フィリピンのマニラは外務省の危険度レベルがとて高い場所です。マニラとセブに行き、学んだことは、確かにフィリピン人はファンキーではありますが、それ以上に感じたことはおもてなし精神があると感じました。何も調べずにノープランで旅行をしたのですが、みんな親切に教えてくれました。その理由を聞くと、日本の安倍晋三元首相がフィリピンの教育機関、議会、建物に巨額の資金を融資し、国を生まれ変わらせた過去があったからと説明してくれました。さらに、観光名所のインストラムロスに訪れた際に、過去の日本兵が現地のタガログ人にとて危険な迫害や殺人行為を行っていたのを学び、今までの教育では学んでいなかったため、認識が覆りました。また、以前貴社に報告したように、大学でネイティブレベルの英語を学んでいたため、一人でも多くの方と話すことができました。先に多様性の話をしましたが、フィリピンはスペイン、アメリカの植民地の歴史があり、多文化国家であるため、多様性を尊重している国であるため、私はとて生活しやすかったです。

最後に今後の生活の抱負について報告します。以前貴社に大阪で働きたいと報告しましたが、大学3年の後期を経験したことによって、考え方が180度変化しました。私は、国際関係を学ぶ中で、私の地元の人口減少と都市部への若者の流出問題、つまり、地方創生に興味を持ち、春休みの期間でプロジェクトに参加しています。守秘義務の関係でこれ以上の内容は話せませんが、とて私自身も日々学びながら成長している実感を、身をもって感じています。長くなりましたが、最後に、私はさまざまな経験をしていく中で、周りの大学生の就活とは合わせずに、私自身のアイデンティティを生かした人生にしたいと考えています。今回のフィリピン一人旅を経験した中で、海外の語学学校で英語を学びながら、多種多様な外国人と触れ合うのも一つの生き方のカードにしたいと思います。

私が現在、大学でたくさん経験できているのは読売光と愛の事業団の皆さまのご支援があつてこそだと思っています。どうぞ、今後ともご支援の程よろしく願いいたします。

## 息抜き、アルバイトなどバランスを取って看護実習に集中

### 25期 東北地方の大学4年生の女性

あつという間に大学4年生になりました。大学3年生もあつという間に過ぎてしまい、看護の領域実習や就活など本格的な看護学生としての大学生活が始まったなと感じていました。9月から始まった実習では3週間で1クールとして、4クール分の実習があり、病院や施設に行き、ひたすら記録に追われる日々でした。程よく息抜きをしながら、バイトと両立して何とか乗り越えることができましたが、かなりしんどかったなと思います(笑)。4年生の前期も3クール分の実習が残っており、ゴールデンウィーク明けから始まるので頑張ろうと思います。実習中にも就活やバイト、卒業研究など並行して行わなければならないものが多く、一番重要な国試対策もしていかなければならないため、気合十分に頑張ります！

実習やバイトで忙しく過ごしていながらも、3年後期あたりからセルフネイルにはまって

しまいました。爪がかわいいとモチベーションも上がるなど思いつつ、実習もバイトもネイルは禁止なので、時間をかけてセルフネイルをして1～2日で外さないといけないということも多く、かなりショックです。その分、春休みはなるべく何もない期間はネイルをしようと思って、とてもかわいいセルフネイルをしていました。これから、またネイル禁止生活が始まるので楽しめるうちに楽しみたいと思います。そして少しでもネイルできそうな時間があれば、やっちゃいたいと思います！

大学生活も残り1年になってしまったので、学生のうちしかできないことをたくさんしたいと思います。そして、自分の望む社会人生活、看護師人生を来年の春から始められるように頑張るところは頑張っていきます！

## 言葉にできないほどの喜び

### 26期 中部地方の専門学校3年生の女性

この半年で最も大きな経験は、介護老人保健施設での1ヶ月間の実習です。実習先では、本来課題提出が義務付けられていないにも関わらず、毎日課題が出され、その都度細かい指摘と修正を受けました。慣れない環境と課題の多さに苦勞し、自分には向いていないのかと感じることもありました。

しかし、その一方で、高齢者との関わりの中で、自分の強みややりがいにも気づくことができました。わたしは積極的に利用者の方へ話しかけることを心がけており、指導者の方からもその姿勢を評価していただきました。高齢者の方々は人生経験が豊富であり、これまでの出来事や思い出を聞くことは非常に興味深く、貴重な学びの機会となりました。特に印象に残っているのは、アルツハイマー型認知症の女性との関わりです。その方とは週に一度しか会うことができず、会話の内容もその日のうちに忘れてしまう状況でしたが、私は毎回欠かさずに話しかけるようにしていました。毎回、生け花のお話、小学校教師時代のお話、学生時代の経験という同じお話をしてくださっていました。

実習最終日、その女性から「前にも一緒に話したことがあるよね？」と声をかけていただいたときには、言葉にできないほどの喜びを感じました。この経験を通して、たとえ記憶として残らなくても、関わりの中で生まれた安心感や信頼感は相手の中に残るのだと実感しました。また、別の利用者の方とも信頼関係を築くことができ、最終日には涙を流して見送ってくださったことも強く心に残っています。

検査や評価などの専門的な知識は難しく、戸惑うことも多かったです。それ以上にコミュニケーションの重要性を実感しました。相手の話を最後まで聞き、否定せず受け止めること、そして相手が話しやすいような質問、話したい気持ちを尊重して待つ姿勢の大切さを学びました。4月10日からは山口県での小児分野に実習があります。これまでの経験を活かしながら、新たな視点や気づきを得て、さらに成長していきたいと考えています。

## 友人と協力しながら資格取得に向け勉強

### 26期 九州地方の大学3年生の男性

奨学金の給付をいただき、ありがとうございます。

後期では、前期での反省を踏まえて、学校での過ごし方、生活や学習の仕方を見直しながら過ごしました。学校での成績について、いくつか単位を落としてしまった科目がありましたが、無事に3年次へ進級することができました。また、学校からの奨学金については、前期のように連続して警告通知が出ることはなく、給付を継続していただけているので、ひとまず安心しました。ただ、ここでは気を抜いていい状況では無いので、これからもGPAを意識していきたいと考えています。

人間関係については、前期と比較したら少しずつですが、改善されてきたと感じます。関わる人数は多くはありませんが、授業のことをある程度は聞いたりできる人が数人できたので、前期よりも気持ちが楽になりました。また、後期は関わりのある人がある程度固定されていたので、無理に周りに合わせるものが減って、自分のペースを維持できていたので、精神的にかなり回復しました。クラスでの孤独感は完全に無くなってはいないのですが、環境に慣れてきたことで、ストレスを感じる瞬間も以前よりも少なくなりました。

三年次での履修登録はまだ始まっていませんが、二年次で落としてしまった単位が多く残っているため、他の学生より授業数が多くなり、忙しくなる予想です。その中で資格の勉強も進めたいと考えているのですが、両立ができるか、不安が大きいです。ただ、大学卒業までに宅地建物取引士の資格勉強をして受験するという目標を仲のいい友人と一緒に立てているので、一人で取り組むよりは、やる気の面では維持しやすいと思います。その友人と進捗を共有して合格に向けて頑張りたいです。

また、日々の生活の面では、アルバイト先で自分より勤務歴の長い人が全員辞めてしまったため、以前よりシフトに入る頻度が増え、以前と比べると少しだけ収入が増えました。金銭面が大きく変わったわけではありませんが、アルバイト自体は安定してきました。今後はこの状態を維持しながら、少しでも成績が上がるよう学業に取り組み、資格の勉強の方も意識して取り組んでいきたいと思っています。

## 進むべき道について積極的に情報収集し、悔いの残らない選択を

### 26期 近畿地方の大学3年生の女性

早いもので、第3学年を迎えました。思い返すと第2学年は毎日授業に追われる日々でした。前期も後期もほぼ毎日1限から5限まであり、本当に大学生なのか？と疑うような時もありました。授業数が多いのに、一つ一つの授業がとても大切で、内容が難しく分らないことが多かったり、課題も多かったので授業の予習復習をする時間が少なくなったりと今思えば全力で一つ一つの授業に取り組むことが出来ていなかったように感じます。しかし、毎日友達と放課後学校に残り課題に取り組んだり、話しながら授業の分からないところを教え合ったりして、なんとか乗り越えることが出来ました。第2学年は栄養の分

野についての勉強よりも、スポーツの分野についての勉強の方が多かったです。保健体育教員の資格を取るための授業や、スポーツの経済についての授業、心理学やスポーツ原理、社会学など様々な方面からスポーツとの関わりについて学びました。今の世の中とスポーツがどのような関りにあるのか、これからの世の中にスポーツをどのように取り入れていけばよいか、子どもたちや大人の方たちがどのようにスポーツと触れ合い、関わっていけばよいかについてとても考えさせられる授業ばかりでした。自分の知らないことや、今まで考えたことのない新たな考えを生むきっかけとなりました。

たくさんのことを学んでいく中で正直、未だに栄養の分野に進むのかスポーツの分野に進むのか決めきれずにいます。どちらにも魅力がある反面、勉強すればするほど簡単な世界ではないと現実を突きつけられる場面もあります。その中で、自分の悔いが残らない選択ができるように、3年生になったら積極的に様々な業種について知ることができる機会があったら、見学に行ってみたり話を聞いてみたりして、自分が、これだ！と思えるような業種を見つけられれば良いと思います。今年的一年はとてもしんどい一年になると思うけれど、とても大切な一年でもあると思います。楽しむところはしっかり楽しみながら、自分の悔いが残らないように日々の授業を真剣に取り組み、資格勉強もして、自分の進むべき道を見つけていければ良いと思います。

## 祖父母の農業引継ぎ、法人化で大規模経営へ意欲

### 26期 中部地方の大学3年生の男性

二回目の秋学期が始まりました。二年生以降は時間が進むのがとてもはやく感じるようになりました。友達と過ごす時間やアルバイトで色々な人と話す時間、どれも大切に過ごそうにしています。二年生も終わりが近づいてくるに連れて自然とどこに就職するかの話が増えてきました。私は何回も言っている通り将来的には祖父母が行っている農業を継ごうと考えています。最初は祖父母のようにこぢんまりと農業をするのが良いと思っていましたが、県が指定する農産物を栽培する事で補助金が出たり、その作物で使う農機具が半額で買うことが出来たりと色々な制度がある事を知ってから、自分で法人化して大きく農業をしたいと思うようになりました。就農場所は少子高齢化がどんどん進んでおり、持っていた農地を手放している人が多く耕作放棄地が増えてきています。そのような耕作放棄地を上手く活用して幅広く農業をしていきたい、と思いました。

また、今年は何か新しい事に挑戦したいと思ったので積み立てNISAを始めました。始めた理由は何かに挑戦したかった事とコツコツ積み立てていけばプラスになる確率が高いのでNISAを選びました。アメリカの株と日本の株を買ってなるべく安定した積み立てが出来るように考えています。年間360万円が限度額で学生の内は絶対超す金額ではないのでかなり安心してする事が出来ています。NISAを始めるときの手続きも知り合いの銀行員に頼んで素早く始めることが出来ました。1ヶ月での金額は少ないですが将来増えていると信じて継続して行っていきたいです。

今学期ラストのテストが始まりました。このテストの結果次第で日本学生支援機構の給付奨学金が給付されるかどうか決まってくるのでとても緊張しながら受けました。自分が出来る勉強はしたので大丈夫だと思いますが、とても心配です。結果は3月末位にわかるので良いテストの結果だと祈っています。

テストが終わり春休みになりました。春休みは同じアルバイトをしている友達と協力しお互いが好きな時に帰れるように配慮してシフト決めを行いました。いつも大量の賄いをくれるアルバイト先なのでなるべく沢山入るようにして恩返し出来ればなと思っています。

3月末から色々な所で水不足が起きていた影響で、生育不足の野菜が増え、値段が少しだけ高くなりました。生育不足だと取れる所から取らないといけません。私の祖父母のキャベツ畑でもかなりの量を出荷しないといけないので、春休みになってから2度目の帰省をしました。祖父母は高齢で前回一緒に農作業した時より明らかに作業スピードが落ちていました。少しでも多く出荷できるように頑張っています。

就職や友達関係、色々と悩みがありますが卒業できるように頑張っていきたいです。

## 様々な身近な環境で学びを意識

### 27期 東京の医療系専門学校2年生の男性

私は、鍼灸師科午前コースの1年を終了し、次は2年生になります。私がこの1年間取り組んできたことについて報告させていただきます。

まず私が1番頑張ったことは勉強です。1年次には人の正常な体の仕組みを学びました。解剖学、生理学、経絡、東洋医学など、様々なことを学びました。鍼灸師は西洋医学と東洋医学の2つの異なる考え方の元、治療を行います。西洋医学は病気に対して、東洋医学はその人の体質、環境など本質に対してのアプローチが可能です。この2つの考え方をを用いて、地域活動や自身のトレーナー活動に活かすことが出来ました。例えば、肩こりが酷い人にはそこに効くツボにお灸をしたり、緩和できるようなストレッチをしたり、西洋的なアプローチと東洋的なアプローチができました。鍼灸師目線だけでなく、トレーナー目線でも解剖学を活かして、体の動かし方、効率のいいトレーニングなど指導することができました。また、最近では外部活動でもコネクションを作れるよう色々な人とコミュニケーションをとり、日本代表のセミナーに参加してみたり、メディカルチェックを手伝ってみたり貴重な体験ができました。

次に頑張っていることはアルバイトです。アルバイトはサッカーのコーチをしています。コーチの仕事は指導者として、どうしたら子供達が上手になれるか、どうしたら集中して取り組めるか、日々学んでいることを活かしながらメニューを組んでいます。また、私のスクールは外国人が多く、英語で対応することが多々あります。そのため、英語の勉強にも励んでいます。子供達に伝わりやすいよう話し方を工夫したりニュアンス、言葉遣いにも気をつけたりしています。

日々色々な場所で私が成長できる環境が身近にあると思います。その中で、私がこの環境をどう利用するか、あと2年でどこまで成長できるか、体調管理にも気をつけながらプロのトレーナーを目指して頑張っていきたいです。

## 長時間の勉強だけでなく継続も大切に

### 27期 近畿地方の大学2年生の男性

現在、大学生活にも徐々に慣れてきており、特に一人暮らしにもだいぶ適応してきました。最初の頃は家事や生活リズムの管理に戸惑うこともありましたが、最近は自分なりの生活のペースをつかみ、食事や掃除なども計画的に行えるようになってきました。一人で生活することで、自分で物事を管理する大切さや責任感も少しずつ身につけてきたと感じています。

勉強面では、英語力を向上させるためにTOEICの勉強に取り組んでいます。英語は将来どのような仕事をする場合でも役立つ重要なスキルだと考えているため、まずは基礎的な語彙や文法を復習しながら、リスニングや長文読解にも少しずつ慣れていくようにしています。すぐに結果が出るものではありませんが、継続することで着実に力を伸ばしていきたいと思っています。

将来に向けて動画編集のスキルを身につけることにも力を入れています。近年はインターネットやSNS、動画コンテンツの需要がますます高まっており、動画編集は今後の社会でも求められる可能性の高いスキルの一つだと考えています。現在は編集ソフトの使い方を学びながら、実際に動画を作成して経験を積んでいる段階ですが、将来的には動画編集で生活費の一部を稼げるようになることを目標にしています。

春休みの期間は生活リズムを崩さないように意識し、毎日2時間程度の勉強を続けています。長時間の勉強だけを目標にするのではなく、継続して学習することを大切にしながら、英語や専門科目の復習、予習に取り組んでいます。こうした積み重ねが将来の力になると考え、無理のない範囲で継続していきたいと思っています。

今後も大学での学びを大切にしながら、自分の興味や将来につながるスキルを少しずつ身につけ、充実した学生生活を送れるよう努力していきたいと考えています。

## 学業、アルバイトなどで課題を把握、工夫して克服へ

### 27期 首都圏の大学2年生の女性

大学生活1年を終え、一人暮らしを始めて約1年が経ちました。あっという間に過ぎていった様に感じます。大学やアルバイト、友人と息抜きをすることなどで毎日を忙しく、思い出深く過ごすことが出来ました。

学業では多くの改善点を発見しました。1つ目は経済学などの主に数学を取り扱った授業で、十分に理解出来ていない部分の勉強を後回しにしてしまったところでした。そこで私は自分の不得意な事や期限が決まっていないものに対しても同様であることに気づきました。

このことを直すためには、授業で具体的にどの部分が分からないのかメモをしておき、その後調べたり、確認したりすることで改善していきたいと思います。

2つ目は、時間管理がおざなりになってしまったところです。学業とアルバイトの両立において、時間の使い方が不十分だったと感じます。忙しいことを理由に、課題や復習が後まわしになり、その時間をつくることも出来なくなってしまうこともありました。今後は1週間単位で学習の計画を立て、あらかじめ時間を確保し余裕を持って勉強をしていこうと思います。

3つ目は、試験前にまとめて勉強をしてしまったところです。時間を作ることが難しかったこともありますが、日々の勉強不の積み重ねから、一時的な理解にとどまってしまう事もありました。今後は継続的に知識の定着も行っていきたいです。

アルバイトでは同じ場所で継続し、今では多くの仕事を任せてもらえるようになりました。また、周りの方が優しく、居心地がよく家にいるような気分で仕事をすることが出来ています。一人暮らしを始めて自分の居場所を作ることが出来るかを心配していましたが、その心配が必要なかったほどに安心できる場所を見つける事ができ良かったです。

皆さまのご支援があり、学生生活、一人暮らしをすることが出来ています。本当にありがとうございます。

## 音響の仕事は演者や観客の体験を支える重要な役割と知る

### 27期 首都圏の専門学校2年生の女性

専門学校に入学してからの一年間は、音響という分野の基礎を学びながら、自分自身と向き合う時間になりました。入学当初は、機材の名前や役割もよく分からず、授業についていくだけで精一杯でした。しかし、実際にミキサーやマイクに触れ、音を扱う経験を重ねる中で、少しずつ理解が深まりました。

特に印象に残っているのは、実習でのライブ音響の経験です。ステージ上の音と客席で聞こえる音の違い、モニターとメインスピーカーのバランス調整など、実習ならではの難しさを実感しました。実習後の達成感も味わえました。また、チームで動くことの大切さも学び、周囲と連携しながら一つの空間を作り上げることが出来たと思います。

課外活動として参加したインターンシップでは、フジロックフェスティバルに泊まり込みで行きました。細かな確認作業の重要性を学び、学校の実習とはまた違った学びを得ることができたと思います。同時に、自分の未熟さも痛感し、もっと知識や技術を身につけたいと、改めて思えました。

この一年を通して、音響の仕事は単に音を出すだけでなく、演者や観客の体験を支える重要な役割を担っていると感じました。まだまだ課題は多いですが、基礎を大切にしながら経験を積み重ね、より良い音を作れるよう成長していきたいです。

子どもから高齢者まで様々な分野の栄養管理に挑戦したい

## 27期 四国地方の短期大学2年生の女性

この1年間はたくさんの学びがあった1年間であつという間に過ぎ去りました。後期は前期と比較し専門性の高い授業が多かった為、難しかったですが、単位を落とすことなく無事に全単位を取得することが出来ました。

特に印象に残っている授業は、食物摂取頻度調査について学生同士で模擬的な栄養指導を行った授業です。普段食べている食事の栄養バランスの偏り具合に加え、適正量をどれだけ満たしているかについて、調べられる物を各自作成します。栄養素ごとの過不足や、生活のどう改善するかを制限時間内に話さなければいけないのですが、結果を伝えるだけで具体的な改善策を上手く伝えることができず、勉強不足や栄養指導の難しさを痛感しました。

また、2年時には卒業研究があります。地元食材の活用方法について科学的な観点から組み合わせを研究し、血糖値の変動も研究するという第一希望のゼミに入ることができました。まだ分かりませんが、そのゼミでは、ここ数年間地元企業と共同で商品開発を行っており、開発に携われるかもしれないので楽しみです。

就職活動は、管理栄養士ではなく栄養士という立場上、病院の求人が凄く少ないです。様々な企業の説明会を聞いたり、臨床栄養に関する学習をしたりしていく中で、臨床分野のみに特化するのではなく子どもから高齢者の方まで様々な分野の栄養管理に挑戦してみたいと考えるようになりました。その為、保育園や病院、高齢者施設等の様々な分野に挑戦できる委託会社に就職をしたいと考え、この3月に面接を受け、無事に最終選考まで進むことができました。面接の合否はまだは分かりませんが、無事に内定を頂けたらその企業に就職させていただく予定です。

生活面では、これといった変化もなくサークル活動やアルバイトも続けています。1日だけ里親さんが用事で家事が出来ない日があり、いい機会だったため、自分一人で掃除や洗濯、ご飯作り等の家事を行いました。1つ1つの家事自体は簡単なものでしたが、裏返しの洗濯物を直したりすべての物を除けながら掃除をしたりと手間が掛かり大変で、家事だけで1日が終わり驚きました。その為、家事の手伝いも行い効率的なやり方を練習していきたいです。

2年生では、学外実習や大量調理の実習も始まり実践的な授業が増える為、しっかりと勉学に励みたいです。そして、支えてくださっている沢山の方たちに感謝を忘れず最後の学生生活も様々なことに挑戦していきたいです。

細かい作業のペースや模型作りに達成感

## 第27期 首都圏の専門学校2年生の男性

まずは自分が1年生の1年間を無事に終えられたことを自分自身で褒めたいと思っています。前回の近況報告からテストや課題をきっちり終え、2回のプレゼン発表も乗り越えま

した。特にプレゼンは9月と1月に行われ、過酷さを極めました。9月は住宅を1人で設計し、1月は2人1組で店舗併用住宅を計画・設計をしました。前期の発表は自分が伝えたい事、自分の設計の良さを伝えきれず、悔しい思いをしました。後期の発表ではその失敗を活かして伝えたいことを伝えられました。友人にも助けてもらいながら、また、自分も友人と協力し、助け合いの精神で頑張りました。その他にも座学や手書きの製図、パース、パソコンを使用したCAD（コンピューター支援設計）の授業もあり、たくさんのことを学んだ1年間でした。同時に一人暮らしも11月から開始しており、やっと慣れてきたところではあります。

一番不安であった料理は無理をせずに、自炊を極力心がけて頑張っています。次の2年生に向けて正直なところ、考えるだけで胃が痛くなります…。プレゼンも当然ある中で発表の課題の規模も大きくなっていきます。今までに自分の学んできたことを繋げて完成させなければなりません。また、力学といった体系的な要素を含んだ学習もあるようで、勉強自体に苦手意識のある自分は不安が多いです。しかし、自身の就職、将来についても考えていかなければならない時期になります。建築業界の中でも自分がどの道に進むのか考え、気を緩めずに取り組んでいきたいと思います。パースという手書きの立体図や、前期の発表で作成した模型、後期の発表で作成した模型は、どれも細かい作業でしたが、作り終えたときには達成感がありました。

## 積極的な自己学習で知識を積み上げる一方、友人作りも

### 27期 九州地方の大学2年生の男性

現在後期の講義を終え、大学では春休みに入っております。来月の4月には学年が1つあがり2年生となります。後期の講義では、前期の講義よりもより専門的な分野となり講義の内容も徐々に難しくなっていました。試験ではあまり手ごたえがなく成績も前期より下がりました。順位もちょうど半分くらいの位置にいるので、もっと上を目指していきたいです。生活面では掃除や洗濯にも慣れ、手際よく作業をすることができるようになりました。友達も増え、充実した学校生活を送ることができています。後期を通してまだまだ勉強不足だと感じ、自分自身の課題が見つかりました。2年生では自分の課題や苦手なことを克服できるように努力をしていきたいです。

来月には、2年生となる一方で後輩もでき、新たな環境になっていくと思います。2年生には見学実習などがあり、新たな視点から学ぶことができるので大切にしたいです。3年生、4年生になると長期の実習があるので、今はそこに向けて色々な知識を身に付けて準備万端の状態の実習に臨みたいです。

2年生の目標は、基礎をしっかり学び応用に対応できる準備のような1年にしたいと思っています。それには日々の授業だけではなく、自己学習も積極的に行い知識を積み上げていくことが大切なので頑張りたいです。また人との繋がりを増やして情報を得て、コミュニケーションがとれる友達を増やしたいです。生活面でも健康に意識していきたいです。まだま

だ先は長いですが日々の努力を大事にして、将来の夢である理学療法士になれるように頑張っていきたいです。

## 日々の学習を大切に、体調・金銭管理など生活力の向上実感

### 27期 東北地方の専門学校2年生の女性

現在、私はアルバイトを始め、学業と両立しながら日々の生活を送っています。忙しい中でも時間を有効に使うことを意識し、計画的に勉強に取り組むように心がけています。アルバイトでは接客を通して責任感や社会性を学び、自分自身の成長を実感しています。

一方で、1年次を振り返ると、学習への取り組みに波があり、計画性や自己管理の面で課題が残ったと感じています。特に課題や試験に向けた準備が十分でないこともあり、日々の積み重ねの重要性を強く実感しました。この反省を踏まえ、現在は日々の学習を大切に、継続して取り組むことを意識しています。

また、一人暮らしにも慣れてきており、生活リズムや体調管理、金銭管理などを自分で行う中、自立した生活を送る力が身についてきました。今年度からは2年生となり、臨地実習も始まるため、常に目標意識を持って実技実習に臨み主体的に学ぶ姿勢を大切にしていきたいと考えています。アルバイトと学業の両立を継続しながらより充実した1年にしていくことが今後の目標です。

## ミクロ経済学の学習を通して論理的思考力と戦略的思考力が身に付く

### 27期 九州地方の大学2年生の女性

1年後期の近況報告です。専門科目は経済学の基礎をより深く理解することを目標に取り組みました。後期ではマクロ経済学とミクロ経済学を履修しました。マクロ経済学では、財政・金融政策が景気にどう影響するか分析するIS-LM分析、GDPなどを学び、日本経済や国際経済の動きと結びつけて考えるようにしました。私はグラフが苦手だったので、友達に教えて貰いながら理解を深めていきました。

ミクロ経済学では、企業行動や市場構造を理論的に分析する内容が非常に興味深く、特に企業同士の最適な生産量の組み合わせを数量ベースで求める「クールノー均衡の分析」では、企業同士の戦略的相互依存関係を数式で表現できることに面白さを感じました。

また、ゲーム理論の分野では、プレイヤーが交互に戦略を決める「展開形ゲーム」を、プレイヤーが同時に戦略を決める「戦略形ゲーム」へ変換する作業や、ナッシュ均衡・部分ゲーム完全均衡を求める過程に強い関心を持ちました。単に答えを出すのではなく、「各プレイヤーがどのように意思決定をしているのか」を論理的に考えることが楽しく、授業外でも問題演習に積極的に取り組みました。ミクロ経済学の学習を通して、論理的思考力と戦略的思考力が身に付いたと感じています。

他にも法学概論、社会科学概論、国際関係概論も履修し、様々な視点から経済学について学ぶことができました。後期も受けた講義の単位は全て取ることができました。

後期はアルバイトにも力を入れ、年末年始や旅行に向けてシフトを増やして取り組みました。部活も10月に福岡で大会があったため、宿泊費などで出費が多かったので入れる日はなるべくアルバイトに時間を使いました。しかし、その結果として学業との両立が十分にできず、一部の科目において復習が不十分になるなど、自身の時間管理の甘さを実感しました。

この経験を通して、計画的に時間を使うことの重要性を強く認識しました。今後は、学業を最優先としつつ、あらかじめ学習時間を確保した上でアルバイトのシフトを調整するなど、バランスを意識した生活を心がけていきたいと考えています。

2年生では1年を通して気づいた反省点を活かして学業や、アルバイト、部活の両立をしていきます。

## 高校生活とのギャップを感じつつ生活リズムを確立

### 27期 中国地方の大学2年生の女性

先日、大学一年生の全課程を修了しました。この一年間、様々な面で高校までの生活とのギャップを感じていました。

前期課程は、大学生としての生活に慣れることを目標に生活を送りました。仲の良い友人ができ、単位を落とすことなく夏季休暇に入ることができました。夏季休暇には、ドラッグストアでアルバイトを始めました。最初は初めてのアルバイトということもあり戸惑うことが多く、その度に同じ時間帯に勤務しているパートナーの方や社員の方にアドバイスをいただき、サポートしていただきました。業務に慣れてからも、様々な場面でお話をする機会がありましたが、どの方もとても親切で良い環境で業務に取り組めたと感じています。

後期課程では、平日は学業、休日はアルバイトと、大学生としての生活リズムも確立できたように思います。成績も、前期同様、全ての科目で単位をとることができました。また、懸念点であったコース選択は、最終的には、カリキュラムでの許容人数に収まり、無事希望コースに進むことが決定しました。

また、一月中旬から二月中旬までの期間、施設が所有するゲストハウスを借りて一人暮らしの訓練として、ホームから離れて生活しました。一か月分の食費をもらい、近所のスーパーやドラッグストアを利用しながら自炊をしていました。

春季休暇は、アルバイトをしながら引っ越しや退所後の準備を進めました。退所後の金銭的支援についての説明や申請と並行して、新居の入居手続きなどを行いました。また、転居に伴ってアルバイトを辞めた際には、最終出勤日に勤務されていた多くの方があたたかい言葉をかけてくださり、恵まれた職場であったことを再確認しました。

三月末には一人暮らしがスタートしました。初めてのことばかりで、まだ戸惑いも多くありますが、心身の健康を最優先に、学校生活だけでなく私生活も充実させていけるよう、スケジュール管理をしっかりとこなしていきたいと思います。

以上